



Shobara Silver

# 庄原シルバー

会報  
夏季号  
2020.7



## — 主な内容 —

- 理事長あいさつ ……2
- 第30回定時総会 ……3
- 勤続表彰 ……4
- 予算・決算 ……5
- 互助会だより ……6
- 安全委員会 ……7
- 事務局だより ……8
- コロナ禍での活動 ……10

## — 庄原市シルバー人材センター会員スローガン —

明るく 楽しく 元気よく  
今日も一日社会貢献

—— 公益社団法人 庄原市シルバー人材センター ——

# 生涯現役社会を実現する

## シルバー人材センター



公益社団法人 庄原市シルバー人材センター

理事長 田村 富夫

シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づく制度で、「一般家庭や企業、自治体から請け負った仕事を会員へ紹介していく役割を担っています。」

庄原市シルバー人材センターには、現在約450名の会員が所属し、「明るく 楽しく 元気よく 今日も一日社会貢献」のスローガンのもと堅実に活動しています。高齢者が地域で自主的に連帯し、ともに働き助け合っていくという機会となったものです。

はたらくとは、傍(はた)を(乗)らなく)にすることだそう。高齢になっても働いたことに感謝されて喜びを感じたり、評価を受けて充実感を得たり、孤立感を覚えることなく暮らせるのは素晴らしいことです。シルバー人材センターは、今や大きな社会資源であり、人生100年時代を生きる新老人の生き方、生涯現役社会を実現するための一つの社会運動でもあると考えます。

シルバー会員の「私たちの自覚と心構え」にあるように、私たちは「働くことによる社会参加に喜びと生きがいを求めています。」「退職後、無理のない範囲で、ちよこつと働きたい」とお考えの方は多いようです。そんな同じ思いを持つ仲間の方々に、定年後の豊かな人生と社会をつくるためのしくみ、シルバー人材センターという生きがい就業の場があることを呼びかけていきたいと思えます。

会員の皆様と話し合い、庄原市シルバー人材センターの発展に向け励んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

### 第30回定時総会開催

理事長に田村富夫氏選任される

副理事長に地田貴美子氏

第30回定時総会が去る6月18日、庄原市シルバー人材センター本所において開催されました。

今年の定時総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と会員の健康に配慮し、規模を縮小しての開

### 新役員紹介

よろしくお願ひします。

理事長	田村 富夫 (西城)
副理事長	地田貴美子 (庄原)
理事	坂田 虎美 (庄原)
理事	坂田 秀子 (庄原)
理事	田丸 祥子 (庄原)
理事	加筑 祥子 (庄原)
理事	加島 達男 (西城)
理事	川上 清美 (東城)
理事	片岡 邦彦 (東城)
理事	福蔵 年行 (口和)
理事	常島 武大 (高野)
理事	常島 伸治 (高野)
理事	新山 豊幸 (比和)
理事	富原 豊幸 (比和)
理事	宗兼 角夫 (総領)
理事	下森 一克 (行政)

催となりました。

総会では開会直後、富原理事長があいさつを行い、令和元年度は前年度と比べ、会員数が1名減となったこと、また、就業中の事故が8件あり、その内1件は重篤事故であったため、改めて安全就業の徹底を訴えました。

続いて永年勤続者34名と理事を3期務め退任する2名の表彰を報告しました。

総会次第4で、総会議長に宗兼角夫氏を選任しました。

総会次第5で定数報告では、事務局から実出席者と議決権行使者を合わせて3778名であり会員総数451名の過半数に達しており本定時総会が成立しているとの報告がありました。



総会次第6で議事録署名人に福歳年行氏、加筑祥子氏を選任しました。

総会次第7で議事に入り、第1号議案、令和元年度事業報告及び決算の承認について提案され、事務局から事業報告で、ホームページを開設したこと、前年度と比較し事業実績が全体では2%減少したが、派遣事業は8%増加したこと、地区班活動が大きく増えたことなどの説明がありました。また決算状況についても説明がありました。

直後、石田泰則監事から事業報告、理事の職務の執行及び計算書類は法令および定款に従い適正であったとの監査報告がありました。

第1号議案については、会員からの質疑はなく賛成多数で承認されました。

第2号議案、理事及び監事の選任について提案され、事務局から理事15名、監事2名の候補者について説明があり、17名全員が賛成多数で承認されました。

第3号議案、理事長に対する権限委任についても、会員からの異議はなく承認されました。

総会次第8、第1号報告では、令和2年度事業計画及び収支予算等について、事務局から目標とする会員数・事業受注額については、また、安全就業の推進については、今までと同じ現場であっても就業



前の安全チェックは必ず行うこと、危険だと思われる現場は、無理をしないで断ることなどの説明がありました。

その後、議長が解任となり、初めての縮小開催となった定時総会を無事終了することができました。

そして総会終了後、令和2年度第2回理事会が開催され、理事長に田村富夫氏、副理事長に地田貴美子氏、常務理事に寺元豊樹氏が選任されました。

また、総務部会、事業部会、広報委員会などの専門部会・委員会の役員構成を行い理事会を終了しました。

## 退任役員

お世話になりました。

大原 重身（庄原）

伊藤 守（東城）

田森 光洋（東城）

毛利 久子（行政）

三上 秀明（庄原）

常務理事 寺元 豊樹（比和）  
事務局長

監 事 森本 淳三（庄原）

監 事 石田 泰則（庄原）



# 表彰

この度、表彰規程に基づき  
36名の会員が表彰されました。



## 勤続表彰

**\*センター会員20年表彰** 平成11年4月1日～平成12年3月31日入会者

おお 大 きよ 清	もり 森 みつ 光	てる 輝 まさ 正	よし 吉 と 人	東本町 板橋町	いし 石 たき 瀧	だ 田 ぐち 口	みえこ 美江子 かず 和	川北町 東城町
--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	------------	--------------------	-------------------	-----------------------	------------

**\*センター会員10年表彰** 平成21年4月1日～平成22年3月31日入会者

さだ 定 みや 宮 あま 天 いけ 池 た 田 おお 大 おお 田 すな 砂 に 丹 たけ 竹 たに 谷 なか 中 あらか 荒 おか 岡	き 木 わき 脇 の 野 だ 田 なべ 邊 がけ 掛 なか 中 はら 原 わ 羽 わ 羽 もと 元 もと 本 ま 間 き 木 だ 田	まさる 勝 よし 好 とき 時 み 己 こ 子 のぼる 暹 お 雄 こ 子 ゆき 行 シズ エ あき 明 ただし 忠 こ 子 ひろ 弘 ひろ 博	東本町 西本町 川西町 本村町 本村町 高門町 高門町 三日市町 三日市町 三日市町 田原町 田原町 川北町 西城町 西城町	さか 坂 なか 中 まさ 横 やま 山 い 伊 た 田 みや 宮 しん 新 たま 滝 たわ 峠 にし 西 なん 南 こう 甲 こう 甲 のぶ 信	もと 本 しま 島 もと 本 ね 根 とう 藤 もり 森 お 尾 やま 山 たに 谷 むら 村 ば 場 げ 下 げ 下 きよ 清	みす 美 やす 康 ひろ 啓 みつ 光 お 秀 しん 伸 まさ 正 かつ 勝 けん 賢 えつ 悦 さ 佐	え 枝 のり 憲 さとし 聰 し 志 まもる 守 ひろ 洋 のり 則 しげる 治 ひろ 滋 ひろ 裕 なり 也 じ 治 はじめ 肇 こ 子 よ 代 子	西城町 西城町 西城町 西城町 東城町 東城町 東城町 高野町 高野町 高野町 高野町 高野町 比和町 総領町 総領町 総領町
---	---	---	--	---	---	---	---	--

**\*理事及び監事として3期以上就任し退任される方**

い 伊	とう 藤	まもる 守	東城町	た 田	もり 森	みつ 光	ひろ 洋	東城町
--------	---------	----------	-----	--------	---------	---------	---------	-----

令和2年6月18日開催の第30回定時総会において、令和元年度決算が承認され、令和2年度予算について報告されました。

## 令和元年度 決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:円)

科 目	決 算 額
I.一般正味財産増減の部	
1.経常増減の部	
(1)経常収益	
受託事業収益	156,694,822
労働者派遣事業収益	2,384,684
庄原市委託事業収益	500,000
受取会費	479,000
受取補助金等	34,815,000
受取負担金	659,580
特定資産運用益	259
雑収益	21,314
経常収益計	195,554,659
(2)経常費用	
事業費	191,162,406
管理費	3,273,918
経常費用計	194,436,324
評価損益等調整前当期経常増減額	1,118,335
当期経常増減額	1,118,335
2.経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	1,118,335
一般正味財産期首残高	24,263,972
一般正味財産期末残高	25,382,307
II.指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III.正味財産期末残高	25,382,307

## 令和2年度 予算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:円)

科 目	予 算 額
I.一般正味財産増減の部	
1.経常増減の部	
(1)経常収益	
受託事業収益	166,256,000
労働者派遣事業収益	2,195,000
庄原市委託事業収益	500,000
受取会費	490,000
受取補助金等	35,015,000
受取負担金	672,000
受取寄付金	1,000
特定資産運用益	1,000
雑収益	28,000
経常収益計	205,158,000
(2)経常費用	
事業費	202,461,000
管理費	3,674,000
経常費用計	206,135,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 977,000
当期経常増減額	△ 977,000
2.経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 977,000
一般正味財産期首残高	25,382,307
一般正味財産期末残高	24,405,307
II.指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III.正味財産期末残高	24,405,307

## 手しごと同好会



# 互助会 だより

## マスク作製と植栽

「手しごと同好会」は衣類のリフォームとして活動されていましたが、今年新しく再編され代表に地田副理事長を置き8名の会員で活動されています。

時にマスク不足が深刻になった折から日頃の技を生かし、会員でマスクを作製し配られ喜ばれました。

また、庄原市役所本庁の入り口脇の花壇に綺麗な花を会員で植えられ、来庁者の目を楽しませています。



## グランドゴルフ同好会

### 久々の開催

グランドゴルフ同好会では、新型コロナウイルス感染症の影響で4月、5月の活動を自粛していましたが、6月24日、第35回大会をグリーンサーキット高野で開催しました。起伏や立木のある難しいコースに47名の参加者が挑み、ホールインワンが23本も出る大会となりました。結果は次のとおりです。

◎優勝

三上 節男さん(高野町)

◎準優勝

橋本 人志さん(本町)

◎第3位

宮脇 孝好さん(西本町)



# 安全委員会

7月は『安全・適正就業強化月間』です。事故や熱中症に注意しましょう。

## ◆全国統一安全就業スローガン（令和2年度～令和4年度）

いつまでも 働く喜び 無事故から

## ◆庄原市シルバー人材センター安全就業スローガン

応募作品32点の中から次の2作品が選ばれ総会で表彰されました。

\*いつまでも 若いと思うな 事故のもと（松崎 寧）

\*気を抜くな これくらいならと 思う心がミスのもと（宮脇みつ江）



## 事故発生状況

職種区分	事故種別	概要
草刈	通院	草刈作業中、草の中にあつた金属片に刈払機の刃が接触し、チップソーのチップが飛散し左膝付近に刺さつたもの
草刈	通院	草刈作業中、気分が悪くなり受診したら熱中症と診断されたもの

## 就業前のミーティングを十分に行いましょう

- ①安全チェック表を活用し、安全確認の徹底
- ②作業現場の再点検を行い危険個所のあぶり出し
- ③飛散防止ネット等の活用と正確な合図と連携
- ④機械器具・安全保護具の整備、点検

## ★熱中症にならないように十分注意しましょう★

### 《熱中症予防のポイント》

- ①日頃から睡眠や栄養バランスの良い食事を十分にとるなど体調に気を配る。  
朝食抜きは厳禁
- ②作業前・作業中・休憩時などに水分をこまめにとる。大量に汗をかく場合は、塩分もとる。また、のどが渇かなくてもこまめに水分補給を行う
- ③就業場所の風通しに配慮する
- ④服装は、通気性や吸湿性の良いものを身につけ、高温下では頭部や首筋に冷やしたタオルを巻いたり、屋外では帽子をかぶる
- ⑤就業中は、無理せず、冷房のある施設や日陰などの涼しい場所で、休憩を十分にとる。屋外での単独作業の場合は、定期的に連絡をとる

### 《症状が出た場合の対処法》

- ①すぐに涼しい場所で衣類をゆるめて安静にさせ、スポーツドリンクなどの水分を与える
- ②水分を自力で摂取できない、呼びかけに応じない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請し、医療機関に搬送する

# 事務局長だよ

事務局職員の異動がありました。

事務局長就任あいさつ



寺元 豊樹  
（てらもと とよき）  
令和2年7月1日  
採用

私は、7月1日から庄原市シルバー人材センター事務局長に就任いたしました寺元豊樹でございます。また、第30回定時総会において理事にご承認いただき、直後の理事会において常務理事に選任いただきました。

私は、昭和58年に旧比和町役場に採用され、その後、市町村合併により庄原市職員として38年間務めさせていただきました。本年3月に退職いたしました。この間、市民の皆様には格段のご厚情を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

この度、庄原市シルバー人材センターの重責である常務理事並びに事務局長を拝命いたしました。至らぬ身ではございますが、センター発展のため一層精励

してまいる所存でございます。

今後とも豊富な知識・経験・技能を持つシルバー世代の能力を生かし、地域社会に貢献するため、田村理事長を先頭に会員・役員・事務局が一丸となつて事業に取り組んでまいりますので、前三上事務局長同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年5月1日  
嘱託員採用



山本 卓  
（やまもと たけし）

よろしく願います。

## 庄原の昔話

### ⑦ マキが墓

高野町上湯川には、今でも「秋の彼岸にやこの道行けぬ俵原からマキが出る」という歌が残っている。

今から150年前、上湯川村俵原はたらの本場であった。俵原の入口、餅ノ実に近いに聞こえたたら親方がいて、山内さん（なり）には諸国から製鉄の技術をもつた人が集まって賑わっていた。

その親方の一人娘のマキは17歳、近郷切つての美女で、嫁にくれ養子になりたいたと引手あまたの評判の娘であった。ところがこのマキが急に妙な病気にとりつかれ、日中はぼんやりして話もしないのに夜になると急に輝くほど美しくなまめかしくなり、はしゃいでいた。親はこの奇病にとりつかれた娘のために名医を招き、祈祷も続けたが少しも効き目はなかった。

一番心を痛めたのは乳母であった。生まれた日から我が子のように養育してきた乳母の目には、マキの病状は何か怪しい気配によるものと思つた。あれこれ考えた末、乳母は千本の針にそれぞれ千本の黒い木綿糸を通し、マキの寝部屋の出入口に一寸ごとに張りつけ、乳母は夜な夜な短刀を抱いてマキの周りをまわつて様子をつかがつていた。

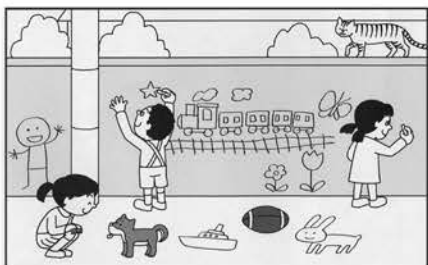
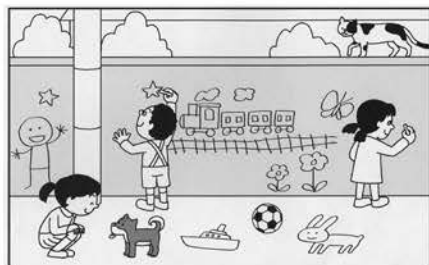
ある夜、急に眠気がしてうつらうつらしながら夢の中で見たものは、真つ白い着物を着た輝くような若者が風のように寝所へ忍び込む姿であった。その時、乳母の体はすくんで動くことができなかった。

そのうち一陣の夜風でふと気が付いた乳母の耳に恐ろしい叫び声と山鳴りの響きが聞こえた。そこで乳母は家の人を呼び、開かれた裏戸伝いに出てみると疾風のように山をはい上がる魔物の姿が見えた。みんなはたいまつを持って追いかけたが、その姿は暗闇の山中に消えてしまったので、翌朝早く山道に上がつて見ると転々と血の跡があり、それは黒石山まで続いていた。そして、ついに追手は黒石山の洞穴の中でうごめいている大蛇を見つけた。その大蛇は追手の人々によって殺されたが、その大蛇は4人ずついで運び埋めたほどの大蛇であったという。



# 脳トレ まちがいさがし

右の絵は左の絵とちがうところが全部で7個あります。見つけたら○で囲んでください。



## 盆用切り花を販売します

◎8月12日(水) 午前9時～

◎熊手、手しごと同好会の作品なども販売します

※会員の出品も歓迎(花・野菜など)

## 会員募集

(入会説明会) まずは次の入会説明会へお気軽においで下さい。

- 7月20日(月) ○ 8月20日(木) ○ 9月23日(水)
  - 10月20日(火) ○ 11月20日(金) ○ 12月21日(月)
  - 1月20日(水) ○ 2月22日(月) ○ 3月22日(月)
- いずれの日も午前10時からシルバー人材センター本所、各支所で行います。

## 編集後記

◆シルバー人材センターは、60歳を過ぎても自分に花を咲かせる「生涯現役センター」とも言われる。人生100年時代において、「生きがい」という果実を育てたい。

◆県内百歳以上のご長寿さんは、平成の初め100人程度だったが、現在では2,000人を超えている(令和元年9月1日調査基準)。2,188人。庄原市は66人で、人口当たりである百歳以上の高齢者数は県下5番目と多い。

◆大正時代からの行事という「庄原夏祭り花火大会」等も新型コロナウイルスで今年は中止。夏の風物詩が見られないのは寂しい限りだ。シルバーの「第30回定時総会」もコロナウイルスの影響で変則的な開催となった。WHOは、「新たな風土病となりウイルスが消えることは無いかもしれない」と根絶まで長年にわたる対応の可能性も示唆している。

◆コロナウイルスに負けず、人生100年時代の「生きがい」を大切に、県北のアクティブシニアでありたいものと思う。

大蛇の鼻の所に乳母がしかけた木綿針が刺さり、長々と伸びた糸は大蛇の走った後の草木に巻き付いていたという。マキは大蛇が殺されて間もなく、たらいつばいの蛇の子を産んで死に、乳母も発狂して後を追ったという。

マキの墓は、俵原へ行く県道の途中の路傍にある。

一説では、マキは文化年間、餅ノ実のたたら親方破静(はずしめ)家の一人娘という。しかし、破静家があったかどうかわからない。また、マキが墓には文政九年(1816年)十月二十二日の刻印がある。この頃、隣の森脇では古家真家が鉄山師として栄えていた。古家真家では諸国から山内に多くの労働者を集めていた。

その労働者の一人がマキと仲良くなったが、身分違いということで中をさかれマキ女は自殺した。古家真家はその実相をはばかつてこの伝説が生まれたのではなからうかともいう。

「高野町誌」より



◎理事会も窓を開け間隔をとって開催

# コロナ禍での 活動



◎事務所の執務状況



◎除草もマスクをつけて作業

## 同好会活動 再開

コロナウイルスの関係で活動を自粛していましたが、密にならないよう活動しておられる会もあります。7月からカラオケ、レクリエーション、パソコンも再開していますので参加してください。



◎4月3日の「庄原シルバーの日」中止により園芸同好会単独で椎茸原木、熊手を販売しました。特に椎茸菌植付原木は開始30分で完売しました。

### 表紙の説明

マスクの作製(6頁参照)

- 題字/伊藤 昇(元理事長)
- 会員スローガン/小池毅司(本村町)